

2項企業債償還金につきましては、前年度対比697万3,000円増の2億6,531万2,000円を計上いたしております。

以上、議案第12号 平成30年度長井市水道事業会計予算についてご説明いたしました。ご審査よろしく願いいたします。

平成30年度長井市各会計予算案に関する総括質疑

○五十嵐智洋委員長 概要の説明が終わりました。

これから質疑を行います。

なお、先日の一般質問を聞かれた市民から、声が小さい、早口で聞き取りにくいという声がありました。質疑者、答弁者とも、はっきりわかりやすくお願いいたします。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

宇津木正紀委員の総括質疑

○五十嵐智洋委員長 順位1番、議席番号1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 おはようございます。長井創生の宇津木正紀です。

それでは、活力と生きがいのある長井市になることを願い、以下の2項目について質疑いたします。簡潔で明瞭な答弁をよろしくお願いいたします。

ただいま委員長からお話のありました早口というのは私のことではないかということで、きょうはゆっくりと市民の方にわかりやすいように丁寧な質疑をしたいと思っております。深く反省しております。

まず1番目が、道の駅川のみなと長井（観光交流センター）周辺整備についてお伺いします。

道の駅川のみなと長井は、昨年4月21日のオープン以来、関係者のご努力により順調にお客さんに来ていただき、これまでの入場者が2月末で約47万人、3月末には50万人に届きそうだと伺っております。菜なポートが2店舗展開となり、心配されましたが、目標に近い売り上げ実績と聞いております。2年目はさらに入場者と売り上げがふえることを願い、道の駅周辺整備について伺います。

(1) 最上川河川緑地公園整備について伺います。

8款4項3目公園費、004最上川河川緑地公園整備事業、この公園工事費4,052万3,000円について伺います。

このたびの河川緑地公園整備工事は駐車場と搬路の整備で、駐車場は45メートル掛ける130メートル、209台駐車可、搬路はタスビルの北側から堤防を越えて、堤防沿いに駐車場までと聞いております。駐車場はアスファルト舗装で整備するのでしょうか。また、道の駅川のみなと長井まで歩いて行ける道はあるのでしょうか。建設参事に伺います。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 お答えいたします。

新年度の最上川河川緑地公園整備工事では、総面積2万6,300平方メートルのうち5,500平米の駐車場の整備、駐車台数につきましては209台になりますが、それと市道から堤防を越えて駐車場までの搬路の整備、延長が250メートルを予定しており、駐車場及び搬路ともアスファルト舗装で施工いたします。

また、道の駅まで行ける道につきましては、敷地が全て完成した暁には、堤防の下に場内通路を、幅員が4メートル、延長が360メートルを設けまして、最も北側の現在の搬路から堤防に出られる道を設けますが、北側の広場から道

の駅すぐ西の堤防階段まで、距離にしまして約220メートルほどになります。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 搬路はアスファルト工事だということ、わかりました。

搬路の整備について伺いたいと思います。タスピルの北側の市道神明野川線から堤防に乗り上げて下って駐車場まで行くということになりますが、堤防の上は狭いと思いますが、車がすれ違えますか、お伺いします。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 搬路の整備につきましては、新設の搬路というのも検討いたしましたが、当然市道側が盛り土になりますので、現在の道路が真西に移設して、うちもかかってしまうという状況になりましたので、現在のタスの東側の搬路を利用することとしました。

国土交通省との河川協議の中で、幸い堤防の堤外地側への腹づけ盛り土が許可得られましたので、旋回スペースとして幅員約14メートルを確保し、堤防上は木蓮川樋管がございますので幅員は4メートルのままですが、すれ違いのための退避所を設け、さらに堤防から公園へおられる搬路につきましては5メートルの幅員を確保して、車のすれ違いも可能としております。

また、先ほど申しましたが、アクセス道路につきましては、全てアスファルト舗装を予定しております。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 わかりました。ありがとうございました。堤防に盛り土して広げて、14メートル確保すると。搬路の幅員は5メートルで、十分に乗用車はすれ違えと。搬路もしっかりとしたものをつくれるということ理解できました。

次にお伺いします。国土交通省から借り上げる河川敷のうち、駐車場と搬路の整備の面積と今回は手がつけられない面積はどれぐらいなの

でしょうか。建設参事に伺います。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 平成30年度の整備面積は、先ほど申しあげました駐車場5,500平方メートルと搬路850平方メートルの計6,350平方メートルでございます。次年度以降計画してる公園、グラウンド、広場等の面積は、残りの約1万9,950平米となります。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 今回は6,350平米と、残りが約2万平米ということ、わかりました。

今回が手がつけられない2万平米のエリアについて、雑木とか雑草が生い茂ってやぶの状態であり、醜い状態となっております。堤防から見ると余りよろしいとは言えない状態でありますので、この残りのエリアについて、整備工事費の請け差でやぶの状態のエリアについて重機でならず程度のことはできないのでしょうか。建設参事に伺います。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 雑草と雑木の回収につきましては、委員おっしゃるとおり、平成30年度工事でできる範囲で行いたいというふうに考えております。特に先ほど申しあげた堤防下の場内通路につきましては、碎石等で仮設道路をつくり、歩いて道の駅に行けるような体制をとりたいというふうに考えてるところでございます。以上でございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 今回、本工事に入れなくても、砂利とか敷いて、ある程度雨が降っても道の駅まで歩いて行けるようなところを対応していただく。あと、残りのエリアも、できる限りの工事で雑草とか雑木の対応をしたいと。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

市長にこれから伺いたいと思います。今回手がつけられない残りのエリアは、いつごろ整備する予定なのでしょうか。測量設計終わってる

と思いますので、特に桜の花見の時期とか黒獅子まつりとか水まつりの花火大会のときは大変重宝される駐車場になると思います。できるだけ残りのエリアも快適になるように、道の駅から見てそれにふさわしい整備をしていただきたいと思いますが、市長の考えを伺いたいと思います。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 先ほど建設参事が答弁いたしたとおり、搬路及び駐車場については全てアスファルト舗装で整備いたしますので、委員おっしゃるような地ぼこりの。

(「言っていない」の声あり)

○内谷重治市長 ああそうですか、ごめんなさい。全体の面積については2万6,000平米ということで、国のほうで確保いただいた土地を借りるということですが、そのうち駐車場の部分と小出の船着き場のところに観光協会が建てた記念碑ありますよね、あそこは公園として整備したいということ等々で、それ以外に多目的な広場とバーベキューとか芋煮会できるような、何といたうんでしょうかね、広場、それとグラウンドみたいな形で考えておりますが、できるだけこれらについては早く整備をしていきたいと。やはり商工団体やら観光にかかわっている皆様、あるいは市民、道の駅にいらっしゃる方々から非常に評判が悪いということで、一日も早くこれら整備をしていきたいというふうに考えておるところでございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 ありがとうございます。私も市民からよく言われます。道の駅の向こう側、早く何とかしてほしいというご意見を多数いただいておりますので、ぜひ早急に対応していただければと思います。

次の(2)に移りたいと思います。市道金井神線について伺います。

8款2項3目道路改良費、004社会資本整備

総合交付金事業、工事請負費、金井神線、延長400メートルについて伺います。

国道287号の長井橋とさくら大橋の間は時折渋滞して、道の駅の立ち寄りの阻害要件となっております。長井橋の東とさくら大橋の東を結ぶ市道金井神線は、市街地を走る国道287号のバイパス的な役割を担える道路として完成を期待しております。

平成30年度の工事は延長400メートルであります。工事箇所はどこになりますか。幅員は何メートルで、どのような工事を予定していますか。建設参事に伺います。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 お答えいたします。

市道金井神線は最上川右岸を縦走する道路で、金井神、日の出町地区の生活道路であるとともに、福祉施設等もございます。山と川に挟まれた急傾斜地の狭隘道路でありながら、国道287号のバイパス的の道路として非常に交通量の多い道路でございます。未整備の最後の1級市道として平成23年度より社会資本整備総合交付金事業でさくら大橋から諏訪堰までの延長1,800メートル、幅員が6メートル、総事業費4億4,000万円で工事を進めているところでございます。今年度でさくら大橋側より600メートルが完成いたしております。

このたび、国の補正を受け、ちょうど中央部の無堤地帯となる500メートルの区間について、現在の道路高から金井神地内の最上川堤防に緩やかにすりつける道路改良工事を施行する所存でございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 はい、わかりました。

今回は社会資本整備総合交付金事業で行う工事ではありますが、平成30年度の完了見込みはどのように捉えていますか。建設参事もゆっくり答えてください。市民の方がわかりやすいようにお願いします。私もゆっくりしゃべってるので、

よろしく申し上げます。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 今回の工事は高盛り土の工事となりますので、途中でとめるというわけにはいかないものですから、国や県に対してもこの区間の全額の予算要求をして行ってきたところでございます。

今回の補正が前倒しでついた格好でございますが、この工事が完了すると残りは堤防の上の道路工事というふうになりますので、平成30年度の交付決定が予算要求どおりであれば、平成30年度で完了する予定でございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 ちょっとかみ合っていないもんで修正したいと思います、私は今のところ30年度の工事伺って、建設参事のお話が29年度の補正とちょっとごっちゃになってるようなんで整理させていただきたいと思います。

今回の平成29年度補正予算では、どこの区間をまず整備されるのか、そこからちょっと最初から整理して伺いたいと思います。今のお話で、さくら大橋の東から600メートル整備して、そこは終わってると。そこから先の、つまり北に向かって整備してるわけで、さくら大橋の東から600メートルという、安部組の旧土砂とり場ではないかというふうに見ています。29年度の補正は、そこからどこまでまず整備されるのか、建設参事、お願いいたします。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 説明が不備で大変申しわけありません。委員おっしゃるとおり600メートルは完成しておりますので、安部組のプラントから金井神地内の最上川堤防、そこに乗けるまでの区間の道路を今回の29年度の補正予算で行います。先ほど私、30年度予算と関連づけてお話ししたのは、今回の補正の区間を30年度予算ということで要求しておりました。それが前倒しでついた格好ですので、30年度の予算が予

算要求どおりにつかないという場合もありますので、つけば30年度で全て完了しますよと、そういう意味でお答えしたところでございます。以上でございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 わかりました。私の理解がちょっと足りなかったようで、申しわけありません。

今回の3月補正が2億1,324万1,000円と。こちらは国の補正でついたから確実に工事ができて、それは安部組の旧砂利とり場の入り口から金井神集落と堤防の分岐点までは確実に30年度で終わると。さらに、30年度のこのたびの予算が国からつけてもらえば一気に長井橋まで完成すると。はい、わかりました。ぜひ期待したいと思います。

次伺います。この区間には、最上川堤防の千本桜ありますが、桜の対応はどのように考えているのでしょうか。建設参事に伺います。

○五十嵐智洋委員長 青木邦博建設参事。

○青木邦博建設参事 本道路改良工事を計画する上で、極力桜の木にはかけない方向で工事を進めてまいりました。今年度まで、先ほど申しましたとおり600メートル完成しておりますが、主に東側の桜並木ですが、その中の3本につきましてはもう既に中が空洞でございまして、倒した根っこが30センチ四方しかないような状況でございました。バックホーのバケットで軽く触れただけでぐらっといくような状況でございましたので、それは安全上伐採したところでございます。

今回の工事区間は主に川側、西側になりますけれども、先ほど申しましたとおり4メートルほどの高盛り土になりますので、桜の木が道路の下にあるというふうなことになるので、ちょっと見えなくなってしまうという状況になります。

桜については、全体を通して相当老朽化して

いるということが今回の工事を通じてわかりましたので、今後堤防敷の路側帯に植樹するなど、関係各課と方策については検討していきたいというふうに考えているところでございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 根っこが30センチ四方しかないということで、危ないということわかりました。ぜひ安全第一に工事進めていただいて、その後も市民や観光客が桜の下敷きにならないようにぜひ安全策をとっていただき、植樹のほうも進めていただければと思います。

それでは、3番目の道の駅の案内看板について伺います。

7款1項3目観光費、003観光振興事業、委託料、観光案内電柱広告掲出管理業務61万7,000円について伺います。

東根市から長井市にいられた方から、道の駅の案内看板がよくわからない、友達もよくわからず、飯豊の道の駅まで行ってしまった。同様に、仙台市や山形市の方からも同様なご意見いただきました。

委員長の許可を得まして、道の駅案内看板地図と写真ということで皆さんのほうに資料を配付させていただいております。ここでいう①森地内の川のみなと長井の案内看板、あと2キロというのは、これはよくわかります。非常にわかりやすい看板です。問題が、道の駅の500メートル手前にある長井橋の西のある看板、これは②で、ちょっと見にくいんです。看板と看板の間であって、道の駅の図がちょっと見えて大変見にくくて申しわけないんですが、この向こう側にもう一個看板があって、3つここあるところなんで、道の駅の案内看板真ん中であって見にくい上に、さらに長井橋から下っていくところであって、視線がどうしても下に向いてしまうということで、上にある看板が見落としがちになると。ここから、この500メートル手前の看板から先は、何も案内看板はありません。

道の駅の入り口には上品な青色で装飾されておりますが、その手前に④の写真のように青色の同色の看板が何枚かあり、色がかぶってしまって、さらに街路樹の陰になって見落としがちであります。

計上されているこのたびの観光案内電柱広告の予算で、長井橋の西十字路から道の駅入り口まで、電柱に案内看板の広告を掲出できないでしょうか。それから、現在の電柱広告は余り目立ちません。目立つ色の電柱広告にできないでしょうか。商工観光課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 ここで、昼食のため暫時休憩といたします。再開は午後1時といたします。

午前11時59分 休憩

午後1時00分 再開

○五十嵐智洋委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、総括質疑を続行いたします。

宇津木正紀委員の質疑に対する答弁を求めます。

中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 お答え申し上げます。

この件につきましては、内谷議員のほうからも複数回ご指摘をいただきまして、谷澤参事のほうで答弁をさせていただきまして、現在、見直しに向けた準備を進めているところでございます。

宇津木委員ご指摘のとおり、米沢・今泉方面からと比較しまして、山形・白鷹方面からの案内看板がちょっと弱いというご指摘を確かに受けているところでございます。

具体的には、ご準備いただいた地図の①の森地内から2キロから②の長井橋西までの区間におきまして数カ所、そして②の長井橋西から道

の駅までの区間1カ所につきまして、道の駅の電柱広告を新たに設置するようにいたしたいと考えております。

電柱広告の色につきましては、ご指摘に沿いましてできるだけ目立つように、道の駅との統一感を持つようにということで配慮して進めてまいりたいというふうに考えております。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 地図と写真の中の①と②の間で数カ所で、②と道の駅の間で1カ所。問題は、②と道の駅の間のところがよくわからない。①と②の間に数カ所を②と道の駅の間に多くできないかと思うんですが、そこらはまだ検討の余地あるんでしょうか。

○五十嵐智洋委員長 中田浩之商工観光課長。

○中田浩之商工観光課長 お答え申し上げます。

ご指摘の②から道の駅までの区間で、電柱広告を掲出できる電柱が1本しか現状でいうとございませんので、とりあえずその1本につきまして掲出をしまして、その後の対応については今後検討してまいりたいというふうに考えております。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 わかりました。電柱がなければどうしようもないと思いますので、いろいろ検討していただきまして、ありがとうございました。

看板の項で、最後に市長に伺いたいと思います。

長井橋の西十字路、①ですね、それから少し南側に③の既存の看板があります。写真のように上杉神社、赤湯温泉、川西ダリヤ園という案内看板であります。県か国かわからないんですが、ここの脇か下に⑤のような既存の看板に道の駅をくっつけるというようなことを管理者に対して市長のほうからお願いして、つけてもらうことはできないかと私が考えました。実際⑤のほうでありますので、ぜひ市長にも汗を流し

ていただきたいと思うんですが、市長の考えを伺います。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 宇津木委員おっしゃるように、川のみなと長井については、道の駅でも郊外型の道の駅じゃないもんですから非常にわかりにくいと、まちなかありますので。そういった意味では、委員おっしゃるように県設置の看板ではございますが、道路標識設置基準沿ったサイズであれば、基本的には看板をお願いすれば県のほうで許可いただければ可能だというふうに思っておりますので、まずは利用者が見やすいサイズで設置できるかどうか、今後ぜひ協議して、これあんまりのんびりじゃなくて、4月から観光シーズンが始まるわけですから、できるだけ早くいい回答をいただいて、予算のほうの問題もございますけども、設置に向けて努力してまいりたいというふうに思います。

また、その前に、委員のほうから電柱の広告というご提言などもございましたけれども、こちらのほうも以前内谷委員からもいただいてますけれども、色をどうするかということはもちろんあるんですけども、イメージの色を使いつつ、わかりやすいような目立つような色ぐあいなども検討して、こちらのほうもうまく活用してまいりたいというふうに思います。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 ありがとうございます。できるだけ早く実現したいという本当に前向きなご回答いただきまして、ぜひ早く進めていただければと思います。

それでは、大項目2番目の長井ダム周辺環境整備について伺います。

(1)のボートツーリングについてであります。2款1項10目長井ダム環境整備推進費、002水源地域活性化事業、長井ダム水源地域ビジョン推進補助金150万円、交付先がNPO法人最上川リバーツーリズムネットワークについ

て伺います。

質疑の目的は、さらなる長井ダム周辺の環境整備の推進策を問うものであります。

平成29年度のボートツーリングの実績はどのようなものでしたでしょうか。前年度と比べて乗船者数はどうでしょうか。県内と県外のお客さんの比率はどうでしょうか。夏の小さなアブ、コシジロが発生する時期は運航されましたか、地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 ボートツーリングにつきましてお答えさせていただきます。

この事業は、特定非営利法人最上川リバーツーリズムネットワークが長井ダム水源地域ビジョンの事業として行ってるわけでありますが、事業名称は三淵溪谷通り抜け参拝ながい百秋湖ボートツーリングとなっております。ご質疑ありました平成29年度の運航状況についてですが、運航日数は73日間、乗船された人数は2,011名となっております。平成28年度の実績が65日間、1,476名でありましたので、運航日数では8日間ふえておりまして、乗船人数は535名増加しており、人数比較では1.36倍となっております。また、参加されましたお客様がどこからお越しになったか、その住所区分でございますが、県外及び国外は19%、長井市を除く山形県内が66.4%、長井市内は14.6%でございました。また、運航の時期は5月から11月まで行っておりまして、ご質疑のありましたいわゆるコシジロの発生時期、7月中旬から8月中旬にかけては、13日間運航をしております。その状況を伺ったところ、コシジロ対策としては蚊取り線香、扇風機、コシジロの天敵であるオニヤンマを模したトラロープなどを設置することで、被害はわかっている範囲ではわずか1名ということで伺っております。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 ありがとうございます。ボートツーリングは、前年度比1.36倍の2,011人と、535人もふえて、主に市外、県外が多いという傾向があるなというふうにわかりました。

遠くからいらっしゃる人にもっとPRすべきではないかということで、確実に運航できる便をできるだけ、先の運航計画になりますが、それをホームページに掲載できないでしょうか。その後、追加便という形で、乗船できるスタッフが確保できればふやしていく、それを随時更新して掲載する、そのようなことはできないでしょうか。地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 現在の運航の体制なんです、船頭の方は6名ということで運営していただいています。このうち運航管理者という方が1名。その運航管理者は、運航する際は必ず現場にいなければならないという規則になっております。そのほか、野川まなび館のスタッフが2名と、ほか、仕事をお持ちの方3名の方々でありまして、このような少人数で運営しているということから、最上川リバーツーリズムネットワークさんでは、お知らせできる運航便のスケジュールは確実に運航できる日程の二、三週間先という状況だというようなご回答をいただいております。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 二、三週間前しか確定しないということで、そこを何とか早くできないのかなと思うんですが、これ以上聞いても仕方がないのかな。ぜひ、これから遠くから来る方が前もって、遠ければ遠いほど日にちが確定してるわけですから、できるだけ早く確定、問題は船頭さんが6人いらっしゃる、運航管理者が1人しかいらっしゃらないというところがネックになってるのかなと思いますので、その

辺、運航管理者をふやすとか努力されて、できるだけ早くホームページに掲載して、県外に、特に県外ですね、遠くからいらっしゃる方にお知らせできたらいいなと感じたものですから質疑したところでした。

前の年に比べて非常にふえてるということは大変喜ばしいことで、長井の観光としてこれからも大いに打ってやっていただきたいなと感じてますので、その辺ですね、よろしくお願ひしたいと思います。

次であります、二、三週間前に乗船計画ですね、運航計画を出した後に空船情報、まだ空きがありますよという情報をホテルとか旅館の空き部屋情報のようにホームページに掲載できないでしょうか。まず見て、自分の日程に合わせるそこを予約するとかいう前段で情報発信できないか、地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 ホームページの掲載方法につきましては、今後の研究課題とさせていただきますと思っております。

なお、平成30年度につきましては、野川まなび館にデジタルサイネージを導入いたしまして、26インチの大型ディスプレイで空き情報を伝えるなど、改善をしております。ホームページ上での空き状況の表示をデジタルサイネージと連動なども考えられるわけですが、今は空き情報と予約システムなどが一体になってるホームページが主流でありますので、これからそのようなシステムが導入できるか、リバーツーリズムさん等と検討してまいりたいと考えているところです。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 デジタルサイン。

(「サイネージ」の声あり)

○1番 宇津木正紀委員 デジタルサイネージ。

デジタルサイネージというのは、こちらデータ

化されてるわけですから、それはまなび館の中で表示する方法でやるんでしょうか。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 委員おっしゃるとおりで、今のところはまだまなび館に来館なされた方が情報として見れるというところがございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 せっかくそれぐらいデジタル化した情報ですから、工夫すればホームページも上げられると思うものですから、ぜひ地域づくり推進課のほうでも支援して、ホームページに載せられるように頑張ってくださいと思います。

次に、(2)の遊覧船試験運行について伺います。

遊覧船試験運行委託料350万円、委託先がNPO法人日本水陸両用車協会JAVOであります、このことについて伺います。

水陸両用車は、全国で何カ所運行してるでしょうか。そのうち東北では何カ所で運行してるでしょうか。東北での具体的な運行例を地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 水陸両用バスの運行につきましては、全国で10カ所ほどあると認識しております。その大半が、委員おっしゃったNPO法人日本水陸両用車協会、通称JAVOで行ってるダックツアーというものですが、大阪、東京・お台場、諏訪湖、栃木県の湯西川ダム、ハウステンボスなどで行われているようです。

東北の事例につきましては、現在行われているところは1カ所で、青森県西目屋村の津軽ダムで運行されております。

運行の形態でございますが、村が水陸両用バ

スを所有して、このバスを運行事業者に対し貸し付け及び運行業務を委託しまして、旅行業者であります一般財団法人ブナの里白神公社にツアー企画及び運營業務、料金徴収業務を委託するという方式で運営されております。

具体的な運行内容でございますが、西目屋村では平成29年4月27日から運行を開始しておりますので、その内容をちょっとご説明させていただきます。バスの運行は、道の駅津軽白神を起点とし津軽ダムを遊覧するコースで、約1時間の行程です。1日5便運行しております、運行期間は4月末から10月末までとなっております。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 わかりました。青森県の西目屋村で、村が車両を購入して白神公社のほうに委託しているということで、道の駅津軽白神を乗降点にして1日5便を運行しているという、わかりました。

次に、水陸両用車の速度などの特性、定員について、地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 水陸両用バスの特性についてでございますが、現在製造及び使用している車両はほとんどが40人乗りのものです。当然特殊車両でございますので、受注製造ということになります。ベースのシャーシ、車体はトラックのものがほとんどで、エンジンもトラックと同じものになりますから、陸路の走行時は普通の速度で走行できます。海上での運行は5ノット程度ということで、時速にしますと約10キロになります。また、水上を運行しますので、ガラス窓はございません。座席の下にはライフジャケットが装備してありまして、水上では着用していただくことになります。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 わかりました。窓ガラ

スがない車で、水上では10キロ程度の速度だと。40人乗りということ。わかりました。

長井市で運行する場合、長井ダムとの調整は進んでいるでしょうか。また、何日間の運行をする予定でしょうか。あと、試験運行のコースと1日の回数について、地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 長井ダムの調整でございますが、西目屋村視察なども行ったんですが、長井ダムの管理支所長等とも同行いたしまして、今年度から一緒に進めているところでございます。

運行の予定でございますが、基本、運行につきましては海上運送法による旅客不定期航路事業許可を受けることとなりますので、これは試験日を除き3日間の運行許可となります。ということで、運行コースは道の駅を起点とした場合は1回当たり所要時間90分などを見込むと1日当たり4便、また野川まなび館を起点とすれば所要時間60分ほどと考えておりますので、5便が出せるかなと考えてるところです。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 わかりました。コースですね、どこからダム湖に入ってどこまで行くのか、そのコースをお願いします。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 お答えいたします。竜神大橋を過ぎたあたりにダム湖におられるところがございます。そこからダム湖に入りまして、合地沢とぶつかるころまでは時間的に不可能ですので、その手前で折り返すというような航路になるかと考えております。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 竜神大橋から先に左に曲がって、県道の手前をおりていく道を折草沢

におりてって、折草沢から本流と合地沢の合流点の手前で折り返しするという、わかりました。

乗車料金の設定はどのぐらいを想定しているのでしょうか。その収入はどのように処理されるのでしょうか。地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 乗車料金につきましてでございますが、まだ決定ではありませんが、青森県西目屋村の料金は、大人2,500円、子供1,500円、幼児500円となっております、この金額などを参考に決めさせていただきたいと考えております。

また、乗車料金の処理でございますが、これも西目屋村の試験運行時と同じ手法で、全て含みの運行委託を運行事業者と取り交わしまして、運行事業者からチケット販売部分を観光局等に再委託という想定をしております。そこで収入となる部分につきましては、確定したら減額の変更契約で行うということで計画しているところでございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 わかりました。350万円を最初に委託契約して、それが収入を引いた金額で契約のし直しという方法になるのかなと理解したところです。

入った分だけ支出が減るということで、できるだけ多くの人に乘っていただいて、この1年は試験運行がうまくいくようにと願っております。

水陸両用車の車両価格について、地域づくり推進課長に伺います。

○五十嵐智洋委員長 小関浩幸地域づくり推進課長。

○小関浩幸地域づくり推進課長 車両につきましては、価格は全て受注製造になります。それで、JAVOなどからお聞きしたところでは約1億円ということで聞いておりまして、製造期間に

については8カ月程度かかるということでございます。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 車両価格が1億円ということで、青森県の西目屋村のようなところは過疎債なんかで買えるかなと思うんですが、長井市はどうなのかなということではありますが、ただ、水陸両用車は栈橋が要らないとか栈橋の設営・撤去費用がかからないということで、船と比べて管理が低コストで維持費がかからないかなと思うんですが、水陸両用車の導入の検討について、市長の考えを伺います。

○五十嵐智洋委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 水陸両用車の導入の検討ということでございますが、今回の水陸両用車の使用しての実証実験というのは、あくまでもダム湖遊覧事業をどういうふうに行っていったらいいかということの一つの検討でございまして、委員からありましたように車両価格が非常に高いと。ですから、これを所有して行ってもなかなか採算のとれるものではないというふうに考えております。

このため、前半は当初予算に組み込ませていただいた水陸両用車で実験をして、できますればことしの秋以降に、今度は通常の船舶で行ってみたいと思っております。通常の船舶ですと、普通の、何というんでしょうかね、軽油を使った、あるいはガソリンを使った動力の船ですと二、三千万円で購入できると。あと、自然にといいますか、環境に優しいというふうに考えますと、電力の太陽光パネルとか、そういったバッテリー形式のものを使うと8,000万円ぐらいというふうに聞いていますので、その辺を含めて今後どうするか、ことしは実験をして、それから具体的にどういう形で行っていくかということを検討したいと思っておりますが、宇津木委員からありましたように、確かに栈橋をつくんなきゃいけないとか待合所、あとトイレ、また夜間

は船舶を引き上げなきゃいけないので、そういった車庫と引き上げの装置とか、そういったものもかかると。なおかつ、冬場はそれらを冬場でももつようにつくるのか、あるいは毎年毎年仮のそういう施設に設置するのかとか、いろんなことを考えられますので、これらについてことしいろいろ検討して、できますれば来年以降あたりに具体的に進めていければなど。やはり相当需要といいますか、乗りたいという方の反響はございますので、これらについてはなかなか民間でも採算合うものをつくるのは難しいとは思いますが、私どももNPOリバーツリズムネットワークなどとも検討しながら、ぜひこれら、どういった形で進めていったらいいか、ことしはいろいろ実証実験をしてみたいと考えているところです。

○五十嵐智洋委員長 1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 水陸両用車、船、いろんな比較して、一番効率がよくてお金がかからずに済むような形で検討されるということで、これから見守って行って、また質問させていただければと思います。

長井ダム観光は長井の宝の一つでありますので、ぜひこれを地域資源として有効活用できるように、これからもみんなで検討していきたいなと思いますので、よろしく願います。

これで質問を終わります。

内谷邦彦委員の総括質疑

○五十嵐智洋委員長 次に、順位2番、議席番号4番、内谷邦彦委員。

○4番 内谷邦彦委員 長井創生の内谷邦彦です。通告書に従い質問いたしますので、回答、よろしく願います。

10款教育費2項小学校費、長井小学校仮昇降

口等賃貸料、平成29年債務負担行為3,035万6,100円、長井小学校管理棟建設工事1億4,381万5,000円について伺います。

まず、長井小学校仮昇降口賃貸料に関し、昨年の12月定例会で予算総括質疑を行い、その中で、平成30年7月から平成31年4月までの13カ月の賃貸料8,490万円、月653万円に対し、仮施設の賃貸料としては高過ぎるのではと検討依頼を行い、今回4,384万9,000円、月337万3,000円と50%近い大きなコストダウンを行っていただきまして、ありがとうございます。しかし、私には、仮設であるとのことからまだ不十分ではないかと考えて再度質問しますので、よろしく願います。

先回の質疑で、昇降口の設置費用が105万3,000円、撤去費用が29万3,000円、渡り廊下部分設置費用が108万5,000円、撤去費用が55万6,000円、電気設備工事費99万3,000円、一般管理費134万6,000円、消費税48万4,000円、合計653万円となり、当初の8,490万円から経費を差し引いて、総額7,837万、月平均602万8,000円となりますが、今回の費用明細について教えてください。教育参事、願います。

○五十嵐智洋委員長 横山賢一教育参事。

○横山賢一教育参事 お答えいたします。

予算額による概算になりますが、今回の昇降口の設置に係る費用につきましては、1カ月当たり43万5,000円、同撤去費用が4万3,000円、渡り廊下設置費用が114万6,000円、同撤去費用が45万4,000円、電気設備工事などが18万7,000円、諸経費が85万8,000円、消費税が25万円となります。合わせますと、1カ月当たり337万3,000円となるものでございます。

○五十嵐智洋委員長 4番、内谷邦彦委員。

○4番 内谷邦彦委員 今回、体育館の下に仮昇降口を設置することにしておりますが、渡り廊下の長さが当初85メートルということでしたけれども、現在の長さが37メートル前後となってい